

大阪城

2023

9/21

(木)

14389

号

全港
西成
分會

247
6647-
4947

朝夕は秋風が吹くようになった。夏物の服も整理しながら、冬服のよ族をなえも考へるころになってきました。

経済社会は、物価高がとまらず、ますます金のザリくりが厳しくなるので、不満と不安は社会の中にふえつつつけています。岸田首相は昨日はニューヨークの国連で話をしたといいますが、失日の内閣改造や自民党内の役員の変更したところで期待もなく、失望が広まっているとの現実です。

10月には、経済対策や方針を発表するとかいいますが、臨時国会の日程もまだかたまり、扛能です。リフみんなの評価と審判を受ける選挙をやさのかつ、予想がたがっています。10/22(水)には、

長崎4区の衆議員と徳島・高知参議員の補欠

選挙があるもので、一定の判断が出るだろうといわれています。秋・年末にかけて、緊張が高まり、つまづいてくる流れに入っています。政治の上部気流の下で、常働現場は崩れまじまじして、9/19、東京、大林組の現場で7階から鉄骨が落ち、常働者がまきこまれ、転落し、2人が死七、3人が負傷する労災大事故が発生しています。労災防止、安全衛生の活動は生命です。

西成労働福祉センター「センターだより」より

8月求人
暑さで下向き

| 8月の地域求人数 | 対前月増減比 | 対前年同月増減比 |
|---------------|--------|----------|
| 現金(日払い) 14653 | -3.9% | -0.45% |
| 契約(延べ数) 11935 | -9.5% | -14.5% |
| 高齢者清掃ほか 4800 | -4.2% | -9.2% |

求人情報(西成センター)
国土交通省は、建設業の担い手の確保を目指し、賃金の引き上げや働き方改革に取り組みむとのこと。受注競争にまけないよう意図して不当に安い金額や短い工期での自註を防ぐため国が技能者の業務の種類ごとに「標準労務費」の目安を示し違反した場合は警告など行政指導する仕組みを創設する。24年の通常国会での建設業法改正を目指すようだ。

建設業界は就労者数が減る中、残業規制強化で人手不足が深刻化する「2024年問題」への懸念が高まっており、待遇改善による就労者数の拡大が急務になっている。

地域の現金求人是对前年同月比ではほぼ同水準になった。求人者からは「賃金を上げない限り建設業に就く人が増えないが、元請けから支払われる金額内での賃金設定では実質上限が決められている」との声も聞く。国土交通省の取り組みが賃金引き上げに繋がれることを期待したい。